



テーマ 選書ツアー

第92号

先生のおすすめ 小林先生・尾上先生

冬も終わりに近づき、学年が終わるまであと少し…今年度の鍵もこの号で最後です。まだ読書が好きでないという方は、ぜひ『鍵』を参考にしてみてください。皆さんの読書の旅路の「鍵」となれば幸いです。

題字 書家 二見紘子 先生

編集 5E S.O. N.H.

カット 百合 K.N. 鈴蘭 M.S.

4B Y.T. 4C Y.K.

印刷 桃 H.S. 椿 A.I.

菊 H.T. 水仙 K.M.

パンダ先生の心理学図鑑



ポーポー・プロダクション 140/P

この本は、見開き1ページで心理学の言葉と、その効果が書かれています。かわいらしく分かりやすいパンダの絵を通して、様々な心理学の用語が学べます。また、その効果の根拠を実際に実験したものなども載っていて、とても分かりやすい本です。「心理学」について触れたことがない人でも心理学の面白さを知ったり、心理効果の強さを学べたりできると思います。私たちの感情も心理効果による心の動きなのだから、ということ改めて感じさせられる本なので、おすすめです。

桐 R.Y.

浪費図鑑 悪友たちの内緒の話

劇団雌猫 小学館 365/G

宝塚からアイドルやソシヤゲ、はたまた触れられたい一心で…。多種多様なオタク女性たちが何に浪費し、情熱を注いでいるのかを赤裸々に綴った本です。今まさに趣味に夢中な私はずいぶん、うなずいてしまう内容でした。貯金やお金を大切に使うことを重要とよく教えられますが、浪費で人生を全力で楽しむ彼女たちを見ていると、なんだか明るい気持ちになります。共感しそうな人も、そうでない人も浪費という名の「愛と幸福の世界」を覗いてみませんか。

梅 A.T.

食べるなら、どっち!? 不安食品見極ガイド

渡辺雄二 サンクチュアリ出版 498.5/W

「この食品は安全なのかな」と思った食品の説明が比較して紹介された本です。例えば“チップスター”と“カルビーポテトチップス”です。私はカルビーの方が危ないのではないかと思いましたが、この本によると、チップスターは商品に含まれている乳化剤というものがいけないらしく、食べるならポテトチップスだそうです。普段気にしないで食べているものの秘密が分かるので、おすすめです。

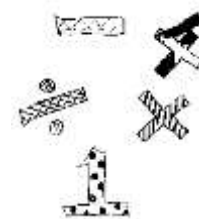
椿 K.I.

考える練習をしよう

マリリン・バーンス 晶文社 141/B

題名は難しそうに見える本ですが内容はとても興味深いです。「考える」をキーワードに、どうしたら上手く頭を使えるか、などを解説しています。例えば「自分のことなら知っているってホント?」「質問することはカッコいい」など常識を覆すようなことがたくさん書かれています。頭を使うことは楽しいことだと感じさせられます。新しい常識が得られ、字も意外と少ないので、読みやすい本です。

桃 H.S.



最後の「愛してる」山下弘子、5年間の愛の軌跡

前田明己 幻冬舎 916/Ma26

がんを患って2018年3月に亡くなってしまった山下弘子さんの亡くなるまでの5年間の、夫である前田明己さんが綴った本です。山下さんはがんを患っていたのにも関わらず、講演会を行ったり、テレビや新聞の取材にも積極的に関わり、多くの人に自身の闘病生活を公表してきました。苦しい現実をただ悲観的に考えるのではなく、前を向こうと闘う勇気を、この本を読んだ人に持ってもらえることが山下さんの生きて証になるはずですよ。

葵 E.N.

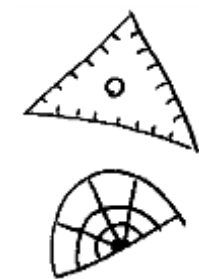


青の数学

玉城夕紀 新潮社 913.6/O

いきなりですが皆さん、数学とは何ですか？ きっとたいがいの人が「計算、問題を解くこと」と答えると思います。この本は、主人公が先ほど皆さんにした質問に対する答えを探しながら、たくさんの「数学」に挑んでいく物語です。今、なぜ私たちは数学を学ぶ必要があるのか。数学とは何か。きっと、そういう疑問を抱いている人はいるはず。それらの答えを出してみたら、「数学」が今までと違って見えると思いますよ。

桜 M.K.



世界を変えた本 Books that changed history

マイケル・コリンズ神父 他 x-knowledge 020/C

『死者の書』『種の起源』『沈黙の春』… 本を愛する人でなくとも、その名を一度は聞いたことがあると思います。しかし、それらが「名前だけは知っている本」で終わっていませんか？ この本は、書名の通り、その登場によって世界の様々な変化をもたらした本たちを、写真付きで紹介しています。勉強の合間に、解説を読んで知識を増やしたり、美しい挿絵や飾り文字を眺めながら、遠い時代に思いを馳せてみてはいかがでしょうか？ きっとあなたの世界が広がると思いますよ。

4E M.S.

アヴェマリアのヴァイオリン

小林先生
おすすめ本

香川宜子 KADOKAWA 913.6/K

この本を読んだきっかけは何ですか？

- 昔の恩師に教えてもらい、2年前にポーランドに行った後に読みました。ポーランドに行った直後だったので、行った時のことが思い出され景色がより鮮明に思い出されました。

どんな本ですか？

- ドイツのアウシュビッツ収容所で実際に起きたことなどを題材にして書かれてあり、ユダヤ人の迫害がいかにひどいかが書かれている本です。第二次世界大戦を経験していない私たち世代に戦争のことを想像させてくれる本です。

おすすめポイントは？

- タイトルにあるヴァイオリンがどのように物語に繋がってくるのかを読みながら考えて楽しんでほしいです。

インタビュアー 董 H.H

抱擁あるいはライスに塩を

尾上先生
おすすめ本

江國香織 集英社 913.6/E44

この本のどのようところが好きですか？

- 江國さんの言葉遣いが好きです。言い回しや美しい日本語を使った言葉の組み合わせに惹かれます。どのようなきっかけでこの本を知りましたか？

- 母が持っていたのを読んでみたのがきっかけです。

この本を通してどのようなことを得られましたか？

- 登場人物が世間の常識というしがらみにとらわれずに自由に生きている様子から、自由に生きていくということ、自分は自分であるのだから流されずにいること。そして、メインで描かれているのが家族であるので、家族を大切にしようと思いました。

インタビュアー 藤 H.M.

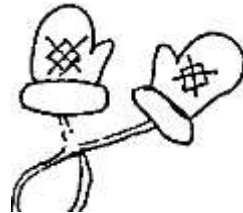
エーディト、ここなら安全よ

小林先生
関連本

キャシー・ケイサー ポプラ社 93N6/Ka12

ヒトラー率いるナチスによって苦しめられたユダヤ人。大人はもちろん、多くの子供が不安に怯え生きていました。この物語では、その困難な時代を多くの人に救われ、生き延びた少女エーディトのお話です。自分の存在を消しながら、家族に会えない悲しみに耐え続ける彼女の姿は、あまりにも切なく、でも同時にとても強い生命力を感じさせてくれます。自分自身の名前で生きていける幸せ、家族の温かさ、助け合いなど多くのことを読んで味わってみてください。

5A K. S.



やわらかなレタス

尾上先生
関連本

江國香織 文藝春秋 914.6/E44

この本は 5~6 ページほどの短いエッセイを 40 個ほど集めた本です。それぞれの話の内容に共通点はありますが、どの話も著者の江國さんの体験したことや、日常から関する考えたことについて書かれています。私たちが、普段当たり前だと思っていることから「なぜなんだろう」と疑問を持ち、それについて自分なりに考えて結論を出している話もあるので、こんな考え方もあるのかと視野を広げることができま。好きな話だけを読むこともできるので、長い話を読むことが苦手な人にもおすすめです。

水仙 K. M.



水仙 K. M.

クモの糸でバイオリン

小林先生
関連本

大崎茂芳 岩波書店 485.7/O

クモ、というと不気味で危険なイメージがありませんか？そんな彼らの生態を専門的かつ面白おかしく知れるのがこの本です。著者の 40 年に渡る研究成果やそれにまつらうエピソードが、軽快で砕けた口調で語られていて、学術書らしい堅苦しさがありません。題名からわかる通りの奇抜な発想と、尽きぬ好奇心でクモの糸の弦で本当に奏でてしまう物語のような実話に、気づけば引き込まれることでしょう。

クモの糸でバイオリン、聴いてみたくはありませんか？

5C Y. M.



センセイの靴

尾上先生
関連本

川上弘美 平凡社 913.6/Ka94

尾上先生におすすめの本に似ているような本はありませんか？と尋ねると、この本を教えてくださいました。

この本は、年の差のある二人のほのぼのとした恋愛で、どの章も少し優しい気持ちになるエピソードがありました。私たち学生には難しい部分もありましたが、もしかしたら本当にこういう恋愛をした人たちがいたかもしれない、と思わせるような一冊でした。ですが、最後には、はっとさせられるシーンがあります。どんなシーンなのかは読んで確かめてみてください。

5B K. S.



2018年2月15日 発行 恵泉女学園中学・高等学校 信和会図書委員

チェロを弾く少女アニタ

小林先生
関連本

アニタ・ラスカー＝ウォルフフィッシュ 原書房 946/W36

この本の主人公であるユダヤ人の少女アニタは、第二次世界大戦中のホロコーストにより収容所に入れられましたが、その中の音楽隊に入りチェロを弾き続け、終戦まで生き延びます。音楽隊の人々は、自分たちが死を免れる分、収容所の門の前で新しく連れてこられる人たちや、処刑場の前で演奏させられていたそうです。収容所の中の実情は、想像以上に残酷だったのだと思いました。多くの本を読むことで、様々な側面からユダヤ人迫害について考えることができると思います。

5D M. M.

エンジェル エンジェル エンジェル

尾上先生
関連本

梨木香歩 新潮社 913.6/N

江國香織と似たような世界観の著者だったので、この本を選びました。

寝たきりの祖母(サワ)の世話をすることで、念願だった熱帯魚を飼うことをコウコは許してもらいます。その水槽の機械音を聞いたことで、サワは切ない少女時代を思い出します。サワの抱えていた当時の悩みは、少女独特のものであり、時代が異なっても、悩みは同じなのだコウコとともに共感を持ってこの話を読むことができ、知らぬ間に物語に引き込まれていくことでしょう。

5E N. H.